

2009年11月2日
三井化学株式会社
中国石油化工股份有限公司

フェノール及びEPTに関する合弁事業に向けた基本合意について

三井化学株式会社（以下、三井化学 本社：東京都港区、社長：田中稔一）及び中国石油化工股份有限公司（以下、Sinopec 本社：中国北京市、総裁：王天普）は、1986年に三井化学がSinopecに対し、ウレタン原料の技術輸出を行って以来、1993年にはウレタン原料・樹脂の製造販売会社を合弁で設立する等関係を深めて参りました。また、2006年4月に両社折半出資のビスフェノールA合弁会社「上海中石化三井化工有限公司（SSMC）」を設立し、同社は本年1月に年産12万トンのプラントを稼働させております。これらの20年以上に及ぶ関係を通じ、両社は信頼関係を深めてまいりました。

本年4月には、両社の信頼関係を更に深めるための覚書を締結し、フェノール及びその誘導品について共同フィージビリティースタディ（FS）を進めるとともに、EPT（エチレン・プロピレン・ジエン共重合ゴム※1）等の機能製品についても共同事業化の検討を進めてまいりました。

このたび両社は、フェノール（別紙1）及びEPT（別紙2）について、合弁事業に向けて、基本合意致しましたのでお知らせします。なお、これらによる設備投資額の合計は、600億円規模に達する予定です。

三井化学及びSinopecは、これら以外のアイテムについても検討を進めており、今後とも両社の協力強化に向けて取り組んでまいります。

以上

（※1）EPT：耐候、耐オゾン性、耐熱・耐寒性、電機特性、耐化学薬品性に優れており、自動車部品、電線ケーブル、その他工業部品に幅広く使用されています

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 広報部長 裾分 啓士 電話：03-6253-2100

中国石油化工股份有限公司 弁公庁 王皓 電話：86-10-59969720

Sinopec 及び三井化学の概要

<中国石油化工股份有限公司>

- ・ 主な事業内容：石油・ガス採掘事業、石油精製事業（ガソリン、軽油他燃料、潤滑油、溶剤、WAX、石化原料等）、化学品事業（オレフィン、合成樹脂・ゴム、合成繊維原料、合成繊維、尿素等）、エンジニアリング（石油・ガス採掘、石油精製プラント、化学プラント）
- ・ 08年売上高：1兆4,521億人民元
- ・ 株主資本：186億ドル（ニューヨーク、ロンドン、香港株式市場に上場）
- ・ 従業員数：42万人
- ・ 所在地（本社）：中国北京市朝陽区朝陽門北大街22号

<三井化学>

- ・ 主な事業内容：機能材料事業（自動車・産業材、生活・エネルギー材、電子・情報材、ポリウレタン材料、コーティング・機能材）、先端化学品事業（精密化学品、農業化学品）、基礎化学品事業（基礎原料、フェノール、PTA・PET、工業薬品、ポリオレフィン）
- ・ 08年度売上高：1兆4,876億円
- ・ 資本金：103,226百万円
- ・ 従業員数：12,964名（連結）
- ・ 所在地（本社）：日本国東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター

2009年11月2日
三井化学株式会社
中国石油化工股份有限公司

フェノールの合弁事業に向けた基本合意について

三井化学株式会社（以下、三井化学 本社：東京都港区、社長：田中 稔一）及び中国石油化工股份有限公司（以下、Sinopec 本社：中国北京市、総裁：王 天普）は、両社のビスフェノールA（BPA）合弁会社である「上海中石化三井化工有限公司（SSMC）」においてBPAの原料であるフェノールの合弁事業を行うことについて、合意しましたので、お知らせ致します。

両社は、国際競争が激化する事業環境下で、アジア最大のフェノールメーカーである三井化学と、中国最大のフェノールメーカーのSinopecが提携することで、アジア需要の獲得を行うと共に、Win-Win関係の構築により世界トップのフェノール連合を実現します。できるだけ早期にフェノールプラントを新設し、既設の上海中石化高橋分公司のフェノールプラントも合弁会社に統合します。これらにより本年1月より営業運転を開始しているSSMCのBPA年産12万トンプラントの競争力も一層強化されます。

両社は、本年内に、国家環境保護部に対し環境申請を行い、2013年に新プラントの営業運転開始を予定しています。

<フェノール合弁事業の概要>

1. 所在地：中国上海市・上海化学工業区
2. 出資比率：50：50（現SSMCの比率に同じ）
3. 生産能力：新設 フェノール年産25万トン、アセトン年産15万トン
※併せて、上海中石化高橋分公司の既設プラント（フェノール：年産12.5万トン、アセトン：年産7.5万トン）を、SSMCに統合します。
これにより、SSMCの生産能力は、フェノール年産37.5万トン、アセトン年産22.5万トン、BPA年産12万トンとなります。
4. 新プラントプロセス（フェノールプロセス）：三井化学技術
5. 営業運転開始時期：2013年第2四半期

以 上

本件に関するお問合せ先：

三井化学株式会社 広報部長 裾分 啓士 電話：03-6253-2100

中国石油化工股份有限公司 弁公庁 王皓 電話：86-10-59969720

2009年11月2日
三井化学株式会社
中国石油化工股份有限公司

EPTの合併事業に向けた基本枠組み合意について

三井化学株式会社（以下、三井化学 本社：東京都港区、社長：田中 稔一）及び中国石油化工股份有限公司（以下、Sinopec 本社：中国北京市、総裁：王 天普）は、Sinopec 傘下の上海中石化高橋分公司においてEPTの合併事業の検討を進めることについて合意しましたのでお知らせ致します。

三井化学は、約40年に亘りEPT事業を行っており、アジア最大のシェアを持っております。08年4月には、市原工場にてメタロセン触媒を用いた最新鋭、世界最大規模のプラントの営業運転を開始しました。

EPTは、自動車用部品（シール部品、ホース等）を主な用途としており、自動車産業が急速に拡大している中国市場で大幅な需要増が見込まれます。三井化学は、この成長著しい中国市場をいち早く獲得するため、Sinopec との戦略的協力関係を強化し、同社の持つ競争力ある原料とインフラ、優秀な人材を最大限に活用することで、いち早く中国におけるEPT事業を拡大することが最適と判断しました。

一方、中国最大の石化メーカーであるSinopecは、高機能化合成ゴム事業の発展を推進しております。Sinopecは、三井化学が最新鋭のEPTプラントを持ち、高いEPT製造技術、研究開発力、販売網を持っていることから、三井化学をEPT合併事業のパートナーとして最適と判断し、選定しました。

< EPT合併事業の概要 >

1. 所在地： 中国上海市・上海化学工業区
2. 事業内容： 三井EPTの生産・販売
3. 生産能力： 年産7.5万トン
4. 完工時期： 2013年第4四半期

以 上

本件に関するお問合せ先：

三井化学株式会社 広報部長 裾分 啓士 電話：03-6253-2100
中国石油化工股份有限公司 弁公庁 王皓 電話：86-10-59969720